

なんでもなく、發生的に幼児教育を行ふとする人の皆一致する論でなければならぬ。余は今日に於ても勿論此の批難を固持して居るものである。併し。余の批難したのは恩物論であつて、木片、板、棒片、そのものではない。あれは立派な玩具である。殊に單純で、しかも用法の範圍の廣い面白い玩具である。その教育的(心理的意味にて)効果も決して尠くないものである。あれを玩具として幼児に自由に持ち遊ばしむることに於て、決して彼之れといふものではない。少くも、それに事らしい長論議をするものではない。たゞ、どこ迄も玩具である。それへ特別に大人の理屈を附けて、その理屈を以て幼児に強ゐんとするのが、實に誤

謬だといふのである。積木遊び、板ならべ遊び、紐遊び、その他何あそび、何あそび、皆幼児に面白い、いゝ遊びである。併し、恩物として取扱はなければ教育的でないといふならば。それは古い誤謬から今も尙脱し得ない間違ひである。恩物としてならば批難する。玩具としては賛成する。之れが明白なる余の論なのである。

○いつそ間違ひの起らないように、『恩物』といふ言葉を平常は使はない様にした方がよいかも知れない。それでフレイベル先生の偉大が少しでも傷く譯ではなく、また尊敬すべきフレイベル先生は却つて地下にそれを喜ばるゝことゝ信ずるのである。

砂場の屋根に就て

倉 橋 生

幼稚園に砂場の必要なことは言ふまでもない。

従つて、どここの幼稚園でも大抵砂場のない處はな

い。しかし、時によると其の砂場が、土まじりのコチ／＼になつて居たり、砂漠の様に乾き過ぎて居たり、殆んど砂場の骸骨とでもいふ様なのがあつて、それ程でなくとも、折角の設備が餘り充分利用せられて居ない處が少くない。

砂場も極く理想的に造るには一通りの研究を要するものである。先づ三尺位は掘り下げて、底と（底には植木鉢のように水ぬきをつける必要がある）四方の内壁とをセメントかコンクリートで、しつかり凝めなければいけない。そうしないと、土が自然に混じて來て、純粹の砂遊びが出來ない。次には椽が是非必要である。之が無いと矢張り外の土が混じて來る。砂も砂場へ入れる前に充分洗淨して、日光消毒をして、きれいな純粹の砂にしてからでなくてはならぬ。そうしないと。濕氣があり泥質があつて不潔になり易いと共に、悪い微菌などがあつて、時によると破傷風などを生ずることがある。少くも年に二度位、暑中休暇とか

春休暇とかには、此の砂洗ひをしなければいけない。

處で斯ういふ具合にして、學理的に理想的な砂場が出來た處で、是非共必要な附屬設備がある。それは他でもない屋根である。砂場のよく使用せられないのには種々の原因もあり得るが、屋根の設備のないといふことも其の一つである。先づ雨の時、折角立派に盛つてある砂を雨ざらしにするといふは亂暴な話である。そんなことをしておく爲に、砂場は雨後數日間使へないといふ様のことになる。甚しいのは砂場變じて大海となつて居るのさへある。雨水が乾いた後は坭のかたまりになる。先づ當分は砂場用ふべからずといふことになる。

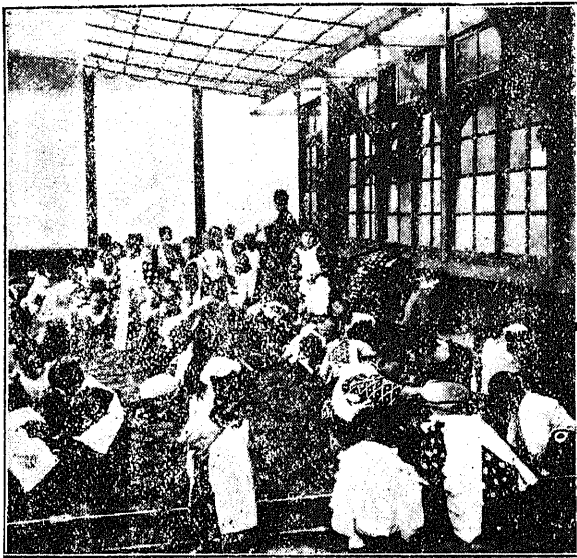
雨の反對は日照りであるが、屋根なし砂場は炎天には使へない。帽子を被つた處で、大事な後頂部へは日光が照りつける。そんな處で可愛い、幼児を遊ばせて置けるものではない。日に焼けて色

が黒くなるなどは却つて結構だが、日射病でも起したら大變である。それに、そんな心配は假りにないとしても餘り砂が乾き過ぎては弄ぶに都合が

は立派な屋根の下に砂場が出来て居る。しかし余が茲にお勧めしたいのは寧ろ、動く取りはづしの出来る屋根である。

よろしくない。お團子にもトンネルにもならないのみならず風が吹いて来て目などへ舞砂が這入り易い。

斯ういふ譯で折角の砂場が雨に使へず、日照りに使へず。殊に此の頃の暑中には全然使へらないといふことになつては、一年三百六十五日、砂場遊びの機會は餘り多くないものになつて仕舞ふ。そこで砂場をほんとうに充分利用しようとならば、是非とも屋根がなくてはならない。



と日光消毒を與へる。しかも子供が遊んで居て、日射が強過ぎるといふ様の折には日のさす方向を見て適當に閉ざす。

極く簡單になら峠の茶屋の葦簾張り式でもよい。もう少し念入りならば、中國邊の町通りで夏になると屋根から屋根へ帆布綿の様なものを張る例の日よけ式でもよい。要するに紐を引つぱつて、その緩急で自由に開閉の出来るようにして、雨の日は勿論密閉して砂のぬれるのを防ぐ。天氣の日は開いて、砂に適當の乾燥

雜 録

或る人は砂場なんかで、そんな費用をかけてといふ人があるかも知れない。そういふ人は御相談にならない。苟も砂場の効用をよく知り、愈々其の利用を充分にしようと思はるゝ方は、是非此の夏から工夫して見て下さい。砂場の位置の關係にもよるが、大した費用のかゝる譯でもない。

茲に挿入した圖は、大阪の江戸堀幼稚園で近く砂場の上に新設せられた布屋根の寫真です。中々立派に丈夫に出來て居る。同園の膳たけ子氏のお話によると、此の布屋根を設けてから、雨天の日も自由に砂遊びが出來るといふことである。但し此の砂場は三方建物に接して居て、そういふ時の便利には特別都合がよいのであるが、屋根の効用はいろ／＼の方面から充分認められ實證せられて居る。(寫真版が不鮮明でよく分らないかも知れませんが、上部に見えるのが布屋根の一部分です。右の窓柱へ紐で引張つてあります)

○幼稚園保姆養成につき建議

本年四月フレーベル會總會に於て決議いたしました幼稚園保姆養成につきての建議は、左の通りの建議文を以て、本會々長より當局へ手續を了せられました。

幼稚園保姆養成ニ關スル建議

家庭教育ノ缺點ヲ補ヒ國民教育ノ基礎ヲ堅フ
スル爲幼稚園教育ノ普及改善ヲ圖ルコト極メテ
緊要ナルハ言ヲ俟タスシテ明カナリ今ヤ各地ニ
於テ幼稚園教育ノ必要ヲ覺知シ之カ設立ヲ望ミ
改善ヲ希フ者漸ク多キヲ加フルノ情況ヲ呈シタ
ルハ國家教育上寔ニ悦フヘキノ現象ナリト雖如
何セン之カ教育ノ任ニ當ルヘキ保姆養成ノ機關
十分ナラサルヲ以テ優良ナル保姆ヲ得ルコト能
ハス爲ニ其企劃ヲシテ空シク水泡ニ歸セシムル
モノ鮮カラサルヲ惟フニ現行ノ規定ニ在テハ師
範學校規程中教育科ノ一部トシテ僅ニ保育法ノ